

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 11 月 6 日 (2014.11.6)

【公表番号】特表 2012-517969 (P2012-517969A)

【公表日】平成 24 年 8 月 9 日 (2012.8.9)

【年通号数】公開・登録公報 2012-031

【出願番号】特願 2011-549494 (P2011-549494)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/196 (2006.01)

A 6 1 P 17/14 (2006.01)

A 6 1 Q 7/00 (2006.01)

A 6 1 K 8/41 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/196

A 6 1 P 17/14

A 6 1 Q 7/00

A 6 1 K 8/41

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 26 年 9 月 18 日 (2014.9.18)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

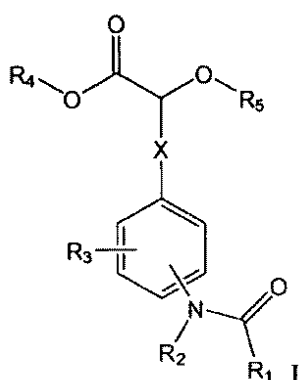
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

毛に関する状態を処置または回復することを必要とする被験体における毛に関する状態を処置または回復するための組成物であって、前記組成物は、有効な量の式 I：

【化 9】



によって表される化合物

(ここで X は C H₂ であり；

R₁ は、C₁ ~ C₆ アルキルであり；

R₂ は、水素であり；

R₃ は、水素であり；

R₄ は、水素であり；

R₅ は、メチルまたはエチルである)

；またはその薬学的に受容可能な塩；および賦形剤を含み、前記毛に関する状態が毛の色素脱失、短い毛の成長、毛の喪失、白斑、または脱毛症である、組成物。

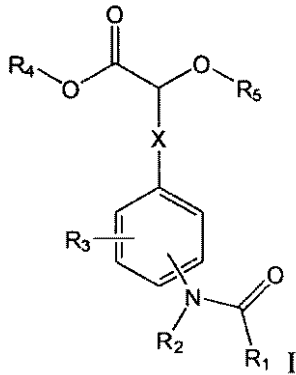
【請求項 2】

前記脱毛症が成長期脱毛症、休止期脱毛症、もしくは円形脱毛症からなる群より選択される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

毛の成長を刺激するための組成物であって、有効な量の式 I：

【化 10】



によって表される化合物

(ここで X は CH_2 であり；

R_1 は、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_6$ アルキルであり；

R_2 は、水素であり；

R_3 は、水素であり；

R_4 は、水素であり；

R_5 は、メチルまたはエチルである)

；またはその薬学的に受容可能な塩；および賦形剤を含む、組成物。

【請求項 4】

前記組成物が局所的に投与される、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 5】

前記組成物が薬学的に、または美容上受容可能である、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 6】

前記組成物が毛の成長を刺激する剤をさらに含む、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 7】

前記組成物が、毛の成長を刺激する剤と組み合わせて投与されることを特徴とする、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 8】

R_1 がメチルである、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 9】

R_5 がメチルである、請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 10】

前記化合物が N - アセチル - (R) - (-) - 3 - (4 - アミノフェニル) - 2 - メトキシプロピオン酸である、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】 0 0 8 7

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【 0 0 8 7 】

散剤およびスプレーは、対象の組成物の他に、賦形剤（例えば、ラクトース、タルク、ケイ酸、水酸化アルミニウム、ケイ酸カルシウムおよびポリアミド粉末、またはこれらの物質の混合物）を含み得る。スプレーは、さらに慣習のプロペラント（例えば、クロロフルオロハイドロカーボン）、および揮発性の非置換炭化水素（例えば、ブタンおよびプロパン）を含み得る。